

道路事業事前評価調書

路線・河川等名	主要地方道 <small>まいづるふくちやま</small> 舞鶴福知山線 三日市	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京 都 府	事業箇所（区間）	<small>まいづる みつかいち</small> 舞鶴市三日市地内		
事業概要	目 的	<p>主要地方道舞鶴福知山線は、舞鶴市と福知山市を連絡する重要な路線であるが、当該箇所は幅員狭小である上、台風等の降雨により路面が冠水し、通行止めが発生する等、早期の道路改良が求められている。</p> <p>本事業は、由良川の治水対策と合わせて、一体的に道路を整備することにより、災害に強い当該地区の道路ネットワーク機能を確保し、かつ沿道住民の安全な歩行空間の確保を目的とするものである。</p>			
	内 容	<p>整備延長：L = 1,800 m 現況幅員：W = 5.0（有効幅員、歩道なし） 計画幅員：W = 6.0（7.25）m 2車線 事業費：約3.0億円</p>			
	上位計画等	明日の京都 中丹地域振興計画			
	スケジュール	着手年度：平成30年度 完成目標：平成34年度			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	<p>○自動車交通量 1,324台/日（H27センサス）</p> <p>○歩行者の通行区分が明確でなく、幅員狭小・線形不良区間が連続していることから、道路利用者の安全確保が不十分な状況である。</p> <p>○本路線は、台風等の集中降雨による路面冠水が課題となっており、早急な対策が求められている。</p>			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	<p>○由良川河川改修事業と一体的に道路嵩上げを行う事により、災害時及び異常出水時における道路ネットワークが確保される。</p> <p>○バイパス整備により、車両の円滑な通行が可能となり、安心・安全な通行環境が確保できる。</p> <p>○通過交通が現道からバイパス道路へ転換することから、現道を通行する歩行者の安心・安全な歩行空間の確保と沿道環境の向上が期待される。</p>			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	○国が進める由良川の治水対策工事と一体的に事業を実施することで、兼用部の盛土工事等において大幅なコスト縮減が図れる。			
総合評価	本事業は、国が現在進めている由良川の治水対策と合わせて実施することにより、当該地区に早期に事業効果が得られるため新規着手の必要がある。				

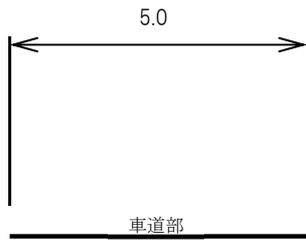


【広域位置図】

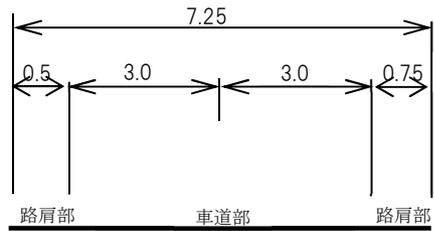


【位置図】

標準断面図 (改良前)



標準断面図 (改良後)



【現況・計画横断面図】 (単位m)



【現況写真】

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成30年 5月10日		
		作成部署	建設交通部 道路建設課		
事業名	舞鶴福知山線防災・安全交付金事業		地区名	舞鶴市三日市地内	
概算事業費	約 3.0 億円		事業期間	平成30年度～平成34年度	
事業概要	由良川の築堤工事と一体的に道路を整備することにより、災害に強い道路の構築と、既設沿道住民の安心安全性の向上を図るものである。				
目指すべき環境像	沿道集落は、過去の台風による由良川の氾濫で浸水しており、外部とを結ぶ唯一の道路の治水対策を備えかつ沿道住民に安全な道路を作る必要がある。				
関連する公共事業	由良川水防災対策事業（国土交通省）				
評価項目				環境評価	
主要な評価の視点		選定要否	施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)		周辺環境が田畑であり、盛土材料は耕作地に影響を与えないよう、地質的に近傍由来のものが望ましい。 河川をはじめ周辺環境に配慮した工事を実施する必要がある。	事業実施に必要な盛土材は、近隣の公共事業で発生する建設発生土等を積極的に活用する必要がある。 工事中は濁水などが周辺に流出しないように実施する。	
	地形・地質				
	物質循環(土砂移動)	○			3
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系	○			3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン		由良川氾濫水位に注意した路面高さを設定をする必要がある。 集落内の狭い道路を多くの車両が通行し、沿道の家屋にとっては、騒音・震動を改善する必要がある。	河川事業との連携により、新たな築堤上に道路を構築することで、道路の信頼性向上が期待できる。 バイパス道路へ通過交通を転換することで、現道周辺の家屋の受ける騒音・振動は軽減される。	
	水環境・水循環	○			5
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル				
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観		地元自治体及び関係者からの要望事業でもあるので、要望にあった道路整備が必要である。	治水対策を行っている河川管理者と連携しながら行うことにより、地元要望にあった道路の構築ができる。	
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働	○			3
その他					
外部評価					